

授業中、隣の席の男の子のズボンが大きくなって、そしたらチャックを下ろしておちんちん見せてくれて・・・

小学校の時の衝撃的な出来事の話。あの日の授業中、私は隣の席の仁くんと、いつものようにこっそりおしゃべりしてた。仁くんとは席が隣になってから結構仲良くなって、授業中に絵しりとりを回したり、ちょっとした冗談を言い合ったりする仲だった。先生が話している最中、教室は静かで、みんな集中してるふりしてるけど、半分はぼんやりとしてる感じ。私も授業にあんまり集中できずに窓の外を眺めてたら、突然仁くんが耳元で小さな声で囁いた。

「やばい……ちんちん、大きくなってきた」

えっ！？って一瞬、頭が真っ白になった。何それ、急に何言ってるの！？って思ったけど、声に出せなくて、ただびっくりして仁くんの方を見た。彼は顔を少し赤くしながらいらすっぽくニヤニヤしながら、机の下の自分の股間をちらっと見下ろした。

それに釣られて私も仁くんの股間の方に目をやったら、次の瞬間、ズボンの布がぴくん、ぴくんって小刻みに動いたの。明らかに、中のおちんちんが自分でピクピク動いてるのがわかる。布が少し持ち上がったたりして、形がうっすら浮かび上がる。私は顔から火が出そうなくらい熱くなって、視線が完全にそこに釘付けになった。見ちゃいけない、絶対見ちゃいけないってわかってるのに、目が離せない。心臓がドクドクってうるさくなった。

仁くんは私の視線に気づいたみたいで、少し照れながら、また小さな声で言った。

「見たい？」

私は言葉が出なくて、恥ずかしさで頭がいっぱいだったけど、なぜかこくんって小さく頷いちゃった。自分でも信じられない。なんで頷いたの、私！？って心の中で叫んでたけど、もう遅かった。

仁くんは周りをそっと確認して、先生が黒板に向いていて他の子たちもこっちを見てないのを確かめると、机の下でゆっくりとズボンのチャックを下ろし始めた。